

平成 27 (2015) 年さけます来遊状況 (第 4 報 : 10/31 現在)

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 来遊数は 210 万尾 [前年同期 : 133%、平年*1 同期 : 25%]
- オホーツク海区を含む日本海側で 175 万尾 [前年同期 : 116%]、根室海区を含む太平洋側で 35 万尾 [前年同期 : 489%]
- 平成 16 (2004) 年以降の来遊数から判断した場合、今年は豊漁年に当たる
- 平成元 (1989) 年以降で 2 番目に少なく、奇数年では最低を記録
- 全道で 1 億 4455 万粒 [前年同期 : 109%] の種卵を確保

*1 : 平年とは、平成元 (1989) ~平成 26 (2014) 年の平均値

(北海道)

10 月 31 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 210 万尾 [前年同期 : 133%、平年同期 : 25%] となっています。

カラフトマスの来遊数は隔年変動することが多く、北海道では平成 16 (2004) 年以降、奇数年が豊漁年、偶数年が不漁年に相当します。今年は豊漁年の年回りですが、10 月末時点の来遊数は平成以降で最も少なかった平成 26 (2014) 年を上回るものの、平成以降の奇数年では最も少なくなっています (表 1 および図 1)。

来遊年	10/31 現在	最終
2005(H17)	918	918
2006(H18)	559	559
2007(H19)	1,491	1,491
2008(H20)	704	704
2009(H21)	1,111	1,111
2010(H22)	731	731
2011(H23)	553	553
2012(H24)	221	221
2013(H25)	325	325
2014(H26)	158	158
2015(H27)	210	-
平年	854	854

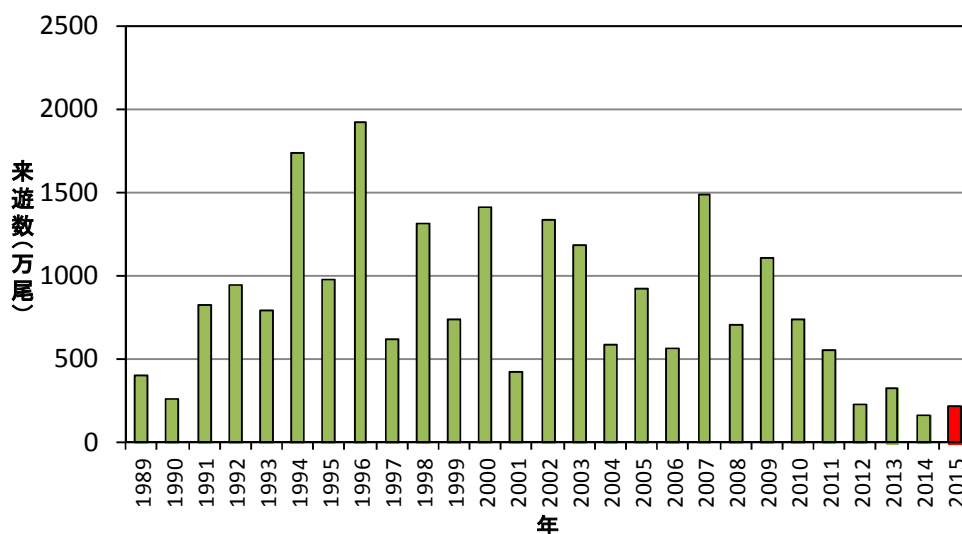


図 1. 7 月 1 日~10 月 31 日までのカラフトマス来遊数 (累計値). 2015 年は速報値.

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区、以下同）では 175 万尾〔前年同期：116%〕であり、平成以降で 2 番目に少なくなっています。一方、太平洋側（根室～えりも以西海区、以下同）では、35 万尾〔前年同期：489%〕と平成以降で 4 番目に少ない状況ですが、平成 24（2012）年を含む直近 4 年の比較では今年が最も多く、その水準は平成 23（2011）の約 87%となっています。

カラフトマスの河川捕獲数は 24 万尾〔前年同期：89%、平年同期：27%〕であり、平成以降で最も少ない状況です（表 2）。河川捕獲数は極めて低調ですが、10 月末までの採卵数は 1 億 4455 万粒と前年の 109%に達しています。河川捕獲数が前年の 83%に減少した日本海側で前年並み〔前年同期：100%〕の採卵数が確保されたことに加えて、太平洋側では河川捕獲数が前年の 383%と増えたことにより、採卵数も前年の 366%に達しており、全道では前年を上回る種卵が確保されたようです。この採卵数は、本年の採卵計画数 1 億 7000 万粒の 85%に相当します。

捕獲年	10/31 現在	最終
2005(H17)	89	89
2006(H18)	94	94
2007(H19)	144	144
2008(H20)	92	92
2009(H21)	131	131
2010(H22)	87	87
2011(H23)	59	59
2012(H24)	26	26
2013(H25)	48	48
2014(H26)	27	27
2015(H27)	24	-
平年	90	90